

## 第 14回「大伴家持卿顕彰詩歌の会」開催について

### 一、趣旨

万葉の時代、国司として赴任した大伴家持は「奈呉の浦」を愛でられ、当地に放生津八幡宮を建立しました。地元の先人たちは家持卿を当宮創建の祖として境内に祀り、文化13年（1816）に放生津八幡宮境内に顕彰碑を建立し、昭和14年（1939）には大伴家持卿の和歌を、文学博士佐々木信綱氏が揮毫した歌碑が建てられました。

曾良の日記では、元禄2年（1689）、松尾芭蕉が「奈呉の浦」の景色を眺めたことが記されており、これに基づき天保14年（1843）には当宮境内地に芭蕉の句碑を建立しました（射水市有形文化財）。

地元の人々は家持卿や芭蕉翁の功績をふまえ日本文化を絶やさないためにも歌会や句会を開催してきました。

短歌や俳句をとおして、自然や風土を見つめなおし、郷土の良さを再認識する機会になることを望み「大伴家持卿顕彰詩歌の会」と名付け、作品募集を行っています。

### 二、詩歌募集要項

#### （一）作品募集の案内「応募作品」

##### （イ）短歌部門

##### （ロ）俳句部門

#### 「年齢区分」

##### ①一般（高校生以上）

##### ②児童・生徒（小・中学生）

なお、作品は未発表のものに限ります。また、お一人様各部門に三首（三句）までとします。

作品は楷書で書き、難しい読みにはルビをふって下さい。題材は自由で、祖霊社祭等にこだわる必要はありません。※応募作品には住所・氏名・年齢（学生の場合は学年を記載）・連絡先を御記載下さい。※参加費は無料です。

#### （二）『応募方法』

郵送又は直接放生津八幡宮社務所までご持参いただくかFAX、メールによる応募も可能です。受賞者には通知を致しますので、受賞通知が届く住所またはメールアドレス、連絡先をお忘れなくご記載ください。不明な点は、放生津八幡宮社務所「第14回大伴家持詩歌の会」事務局までお問い合わせ下さい。

(三) 『応募締切』

令和 6 年 7 月 31 日 (水) まで

(四) 『表彰』

表彰式は令和 6 年 8 月 25日 (日) に齋行する祖霊社祭 (放生津八幡宮境内) にて表彰致します。受賞者には表彰式前までに通知を致します。  
優秀作品及び作者名は、放生津八幡宮広報誌等に掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

※祖霊社祭：令和 6 年 8 月 25日 (日) 午後 4 時より齋行

(五) 評価方法

作品評価は互選のうえ、有識者及び責任役員等を含む実行委員会選定の選考人による点数により優劣を吟味致します。

【参考：作品評価のポイント・注意点】

- ・ 国語的、文法的な表現が正確である。(基準点)
- ・ 俳句・短歌の規則を理解している。(基準点)

(その他)

- ・ 情景が浮かぶ。
- ・ 古典を理解している。
- ・ 芸術性がある。
- ・ 奇をてらったものでない。

\*なお、盗用や人工知能等により作成したことが判明した場合は、以降の応募を御断りさせていただきますこと、予め御理解ください。

主催 「大伴家持卿顕彰詩歌の会」 実行委員会

後援 北日本新聞社

問い合わせ 放生津八幡宮社務所 (事務局)

〒934-0025 射水市八幡町 2-2-27

TEL (0766)-84-3449 FAX (0766)-75-1254

メールアドレス [houjyoudu8shrine@gmail.com](mailto:houjyoudu8shrine@gmail.com)

(過去に優秀な作品をお送りいただいたのに、応募者のお名前・ご住所が不明なものがございましたのでご注意ください。)